

2024（令和6）年度 尚絅学院大学「現職教員のための公開講座」一覧

講座名	講座内容	講師名	開催日時	主な受講対象	定員
(RO6-01) ICTを活用する国語科の授業づくり	ICT機器やアプリの全般的な活用についてはコロナ禍以降、多くの教員が様々な研修会で聞きしてきたことと思いますが、特定の教科に特化した研修会はまだまだ少ない現状があり、国語科も例外ではありません。 本講座では、国語科におけるICT活用の特徴を示し、テクノロジーの普及による教育の変容段階と結び付けて考えることによって、国語科の各領域で有効に活用できそうな場面を受講者の皆様と思索していきます。実際に学校で使用している国語科の教科書をご持参ください。「低学年は文字入力できないから…」「調べ学習や辞書代わりにしか使えない…」等、参加者で日頃の悩みを共有しながら、今後の自分の授業実践に役立ちそうな活用例を考えていきましょう。 【備考】講座の中でQRコードを読み取ってアンケートに回答してもらう場面があるので、スマホやタブレットを持参してください。	教育部門講師 大谷航	8月5日（月） 13：00～15：00 受付 12：30～13：00 受講料無料	小学校教員 中学校（国語科）教員 特別支援学校教員 （教職課程履修者）	30名程度
(RO6-02) 「社会に開かれた教育課程」と学校・家庭・地域の連携と協働	「社会に開かれた教育課程」には地域ぐるみの様々な取組が期待されています。実際に「社会に開かれた教育課程」をどのように構想していくか、「子供は未来の創り手」「地域とともにある学校」をキーワードに事例を基に具体的な理解を深めていきます。 また、コミュニティスクール（学校運営協議会を設置した学校）と地域学校協働活動が一体となって「社会に開かれた教育課程」の実現を目指すことの意義を確認し、地域連携担当教員を中心として家庭と共に地域社会全体で子供を育てていくために、学校教員が行う視点と教育実践について、グループでの意見交換などを取り入れながら理解を深めていきます。	教職課程センター特任講師 安倍 良博	8月8日（木） 13：00～15：40 受付 12：30～13：00 受講料無料	小学校教員 中学校教員 高等学校教員 特別支援学校教員 （教職課程履修者）	30名程度
(RO6-03) 「学び続ける教師」が創る令和の時代の学校・学級・授業	教員には「学び続ける教師」として、チーム学校の一員として、これからの時代に求められる資質・能力を児童生徒に確かに育む学校、そして児童生徒が日々学びがいを感じる学校を校長のリーダーシップの下に保護者や地域住民と共に創っていくことが求められます。 本講座では、一人一人の持ち味が発揮される学級経営、配慮や支援を必要とする児童生徒とのかかわりや保護者との連携、学びの質を高める「個別最適な学習」と「協働的な学習」の展開、問題解決的な学習による授業の活性化、家庭や地域と連携した教育活動などについて、事例を取り上げながら考えていきます。（グループに分かれての意見交換も取り入れる予定です。）	(前)教職課程部門特任教授 佐藤 佳彦	8月9日（金） 13：00～16：00 受付 12：30～13：00 受講料無料	小学校教員 中学校教員 高等学校教員 特別支援学校教員 （教職課程履修者）	30名程度

<p>(RO6-04) 「新たな教師の学び」の姿と資質・能力 ～今、改めて「教職の魅力」を考える～</p>	<p>被災地で子供たちと生きる教師たちがいます。複雑化・多様化する教育現場で様々な課題に日々対応し、実践を模索する教師たちがいます。もはや、「教師の仕事は授業」という考え方だけでは、「教師」という魅力ある仕事を務めることはできなくなってきていると考えます。 本講座では、最近の教育界の動向もふまえながら、今改めて「教職の魅力」ということを見つめ直し、「新たな教師の学び」の姿や求められる資質・能力、教師にとってのウェルビーイングなどについて考えていきます。(グループに分かれての意見交換も取り入れる予定です。)</p>	<p>(前) 教職課程部門特任教授 佐藤 佳彦</p>	<p>8月16日(金) 13:00~16:00 受付 12:30~13:00 受講料無料</p>	<p>小学校教員 中学校教員 高等学校教員 特別支援学校教員 (教職課程履修者)</p>	<p>30名程度</p>
<p>(RO6-05) 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒 の就学支援および進路支援</p>	<p>現行の特別支援教育においては、小・中学校における通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある「多様な学びの場」を用意することが求められています。 就学前から学校卒業後の自立と社会参加を見据えて、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対して適切な学びの場を提供するために必要な視点について解説します。発達障害等に関する基本的な解説も含まれます。</p>	<p>教育部門准教授 佐々木健太郎</p>	<p>8月20日(火) 13:00~15:00 受付 12:30~13:00 受講料無料</p>	<p>幼稚園教諭 小学校教員 中学校教員 高等学校教員 特別支援学校教員 (教職課程履修者)</p>	<p>30名程度</p>
<p>(RO6-06) イメージ療法に挑戦(箱庭、描画、風景構成法)</p>	<p>イメージ療法はことばを使わず、自分の無意識を活性化することで、意識レベルで自分でもわからない悩みや葛藤が減少していく療法です。不登校や引きこもりの児童生徒のこころの葛藤や不安をことばで表現できることは難しいです。しかし、イメージ(箱庭、描画)を用いれば、そのイメージに悩みや葛藤を表現していることがあります。そのイメージ療法を体験してみましょう。 【備考】クレヨン、色鉛筆、黒マジックを持参ください。画用紙はこちらで用意します。</p>	<p>心理部門教授 三好 敏之</p>	<p>8月29日(木) 13:00~15:00 受付 12:30~13:00 受講料無料</p>	<p>小学校教員 中学校教員 高等学校教員 特別支援学校教員 (教職課程履修者)</p>	<p>30名</p>
<p>(RO6-07) からだところのつながり</p>	<p>からだの不調(からだのだるい、重い、痛い等)があれば、こころの不応(やる気がでない、疲れる等)に現れます。今回はからだの緊張を自分できづいて、その緊張を弛めたり、動かしたりしてからだの軸を通してこころがリラックスして、安心するところの使い方を勉強してみましょう。 【備考】からだのワークをするので、女性の方はズボンで参加ください。</p>	<p>心理部門教授 三好 敏之</p>	<p>8月30日(金) 13:00~15:00 受付 12:30~13:00 受講料無料</p>	<p>小学校教員 中学校教員 高等学校教員 特別支援学校教員 (教職課程履修者)</p>	<p>30名</p>